

〔様式2号〕

大牟田市胃内視鏡検診 同意書

【胃がん検診の目的と方法】

胃がん検診は、症状がない時期にできるだけ早く胃がんを見つけ、早く治療する目的で行われています。その方法には、バリウムを用いる方法(胃X線撮影)と内視鏡を用いる方法(胃内視鏡検査)があり、いずれもその効果が証明されています。

【胃内視鏡検査の方法】

口・又は鼻から胃内視鏡を挿入し、食道・胃・十二指腸を内腔から観察し、病気を探します。異常がある場合には、病変の一部をつまみ(生検)、細胞の検査を行うことがあります。また、色素を散布して、病変を見やすくすることがあります。なお、生検が行われた場合は、生検については保険診療として別途請求があります。当日は健康保険証を持参してください。また、生検により粘膜に傷ができますので、検査後当日の食事はやわらかい消化の良いものを食べてください。過激な運動、長湯、旅行なども避けてください。

【偶発症】

偶発症が発生する頻度は、胃内視鏡検診では10万件に87件と全国調査により報告されています。この中には鼻出血などの軽微なものから入院例まで含まれています。現在、胃内視鏡検診による死亡事故は報告されていませんが、ごくまれに死亡の可能性もあります。胃内視鏡検査では、以下の偶発症が起きる可能性があります。

- 1) 胃内視鏡により粘膜に傷がつくことや、出血、穿孔(穴があくこと)
- 2) 生検により出血、穿孔
- 3) 薬剤によるアレルギー(呼吸困難、血圧低下など)
- 4) 検査前からあった疾患の悪化(症状の出ていなかった疾患も含む)

なお、当施設では偶発症の防止のために十分な注意を払うとともに、偶発症が発生した場合には最善の対応をいたします。

【検査データの医学的活用】

検査により得られたデータを今後の医学発展のために活用させていただく場合があります。その際には、個人が特定されないよう個人情報の保護に十分配慮いたします。

年 月 日 説明医師名

上記の事項について、説明を受け、十分に理解しましたので、その実施に同意いたします。

年 月 日

受診者署名

受診者代理署名

(続柄)

検診対象の除外条件

- ① 検診に関するインフォームド・コンセントや「大牟田市胃内視鏡検診同意書」（様式2号）の取得ができない者
- ② 妊娠中の者
- ③ 疾患の種類に関わらず、入院中の者
- ④ 消化性潰瘍などの胃疾患で受療中の者(ピロリ除菌中の者も含む)
- ⑤ 胃全摘術後の者

胃内視鏡検査の禁忌

- ① 咽頭、鼻腔などに重篤な疾患があり、内視鏡の挿入ができない者
- ② 呼吸不全のある者
- ③ 急性心筋梗塞や重篤な不整脈などの心疾患がある者
- ④ 明らかな出血傾向またはその疑いのある者
- ⑤ 収縮期の血圧が極めて高い者
- ⑥ 全身状態が悪く、胃内視鏡検査に耐えられないと判断される者